第　129　号

社団法人日本測量協会　四　国　支　部　　平成２５年１月１日発行

事務局だより

所在地　〒760-0067　香川県高松市松福町 2-15-24（香川県土木建設会館2階）
TEL 087-821-2450　FAX 087-822-8459　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：shikoku@jsurvey.jp
社団法人日本測量協会ホームページアドレス　http://www.jsurvey.jp

本紙カラー版は、上記ホームページの会員向け「測量情報館」でご覧いただけます

CONTENTS

★新年ごあいさつ　四国支部長　福田昌史 ……P1
★新年のご挨拶　国土地理院四国地方測量部長　廣田三成 ……P2
★「デジタルカメラを使った写真測量のしかた」講習会のご案内……P3
★測量士・測量士補答案練習セミナーのご案内 ……P4
★日本測量協会ホームページバナー広告募集 ……P5
★国土地理院四国地方測量部からのお知らせコーナー……P6
★受験願書交付・「地理空間情報に係る産学官連携強化情報交換会 in 岡山」…… P7
★通信添削講座のご案内 ……P8
★教育訓練給付の支給手続きについて……P8
★社団法人日本測量協会四国支部・測量技術センター四国支所の 2013 年は……P10
★四国支部　行事カレンダー ……P12

新年ごあいさつ

四国支部長　福田昌史

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、さわやかな初春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロンドンオリンピックで史上最多のメダルを獲得しました。バレーボール、サッカー、アーチェリー、水泳、ボクシングが印象に残ります。特に女子の活躍が目立ちました。下馬評の高かった柔道は不振でした。スポーツ界も女性上位の時代になったのでしょうか。

山中教授のノーベル賞の受賞も国民を元気づけるものでした。日本の基礎技術の水準も誇っていいものだと思われます。これから臨床に移って難病に苦しむ人々に希望がもてる技術に進化することを皆さんとともに期待したいものです。

自然界では皆既日食、金環食が全国でも観察できました。次の日本における皆既日食は2035年とされています。1／4世紀後日本社会はどう変化しているでしょうか。

一方、東日本大震災の復旧、復興は思うような速度で進んでいないとされています。今次災害の大きさ、甚大さを考えると平時のルールにとらわれず大胆な施策の実施が大いに望まれます。被災者の方々の安寧の実現を願いたいと思

います。

さて今年ですが、年末に衆議院選挙が実施され政権の枠組みが変化します。経済、外交、教育。国の根幹が揺らいでいます。立て直しが急がれます。

四国の社会基盤施設整備の展望ですが、昨年着工が認められた「8の字ネットワーク」の4事業区間について、着工に向けた調査測量が、全面的に展開される予定です。また南海トラフ、巨大地震対策として、防災事業が昨年に引き続き精力的な実施が計画されており会員の皆様の活躍が期待されています。測量界としても久しぶりの明るい話題であります。

これらの事業が円滑にされるために協会として今年度も各種の技術講習会、研修会を企画しております。多くの会員の皆様の参加をお願いして、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

国土地理院四国地方測量部長　廣田三成

新年明けましておめでとうございます。

日本測量協会四国支部並びに同会員の皆様にとって、明るい良い年となることを心からお祈り申し上げます。

昨年は、3 月 27 日に「地理空間情報活用推進基本法（平成 19 年法律第 63 号）」に基づく、「新たな基本計画」が閣議決定されました。前基本計画では、誰もがいつでもどこでも必要な地理空間情報を使ったり、高度な分析に基づく的確な情報を入手し行動できたりする「地理空間情報高度活用社会（G空間社会）」の実現を目指しました。新たな基本計画では、平成 23 年度までの基本計画の成果・達成状況、その後の地理空間情報を巡る技術の進歩や新しいアイデアを踏まえ、経済社会の様々な変化にも対応して、更に進んだG空間社会の実現を図ることとしています。

基本法に基づく基盤地図情報の整備状況については、四国地域においても提供地域が拡大され、その利活用が進むとともに、新たな産業・サービスの創出につながることを期待しているところです。

また、国土地理院では、インターネットを経由して国土の基本図を購入できるサービス「電子地形図 25000」、数値地図「国土基本情報」の提供を 8 月から開始しました。電子地形図 25000 は、購入の際に入手したい地図の中心の位置、出力形式を指定することができます。その内容は、従来の２万５千分１地形図とほぼ同様の地図を出力することができます。数値地図「国土基本情報」は、行政区画、道路、鉄道、建物等の地図情報、居住地名等の地名情報、標高等を一つにまとめたデータです。四国地方は、１０月３０日から提供が開始されました。

測量や地図を取り巻く環境の変化に対応しつつ、今後も皆さんのニーズを聞きながら、より価値ある使いやすい地理空間情報の提供を目指して、サービスの多様化や質の向上に努めてまいります。

今後とも、貴協会四国支部そして同会員の皆様方に引続きのご支援とご協力をお願いするとともに、新しい年が皆様方にとりまして発展の年になりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。